



入選おめでとう!

夏休みの前に「夏（なつ）」あるいは「平和」をテーマに、中日新聞社主催の「絵手紙」コンクールに希望者を募って7月22日に応募したところ、3名の児童が入選しました。

ほのぼの 絵手紙コンクール 9月3日中日新聞夕刊



長谷川芽依さん



本目 運くん



小幡乃愛さん

エアコンに感謝!

今週も猛暑が続き、昨年までですと、とても授業にならないほどの暑さです。今年からエアコンが教室に入りました。子供たちは、涼しい環境の中で、集中して快適に授業ができます。どの子供に聞いても、「エアコンが入ってとても気持ちがよい」「勉強がしっかりできる」などの前向きな意見がたくさん出ました。



寿会の皆様に感謝

9月10日、早朝より学校の校庭の除草作業していただきました。皆様のご協力で、草いっばいの運動場もすっきりしました。とても暑い中でしたが、熱中症になる方もおみえにならず、本当によかったです。また8時から高学年の子供たちも一緒に参加することができました。



一杯のラーメンから



先日、妻と旅行をした際、楽しみの一つに「夕食は地元の有名なラーメン屋」と決めていました。事前に雑誌やネットで調べ、宿から30分ほどかけていくと、長蛇の列ができていました。店は建物の2階にあり、階段からずっと1階の道路まで人があふれていました。1時間以上はかかると思い、躊躇しましたが、他店への考えはなく、その列に加わりました。その後も、多くの人を訪れましたが、半数は列を見て去って行きました。

並んで20分ほどしたころ、アジア系の4人の家族が現れ、私の前を平気で通りすぎました。さらに行列の横をぐんぐん進み、列の真ん中辺りにいる仲間と会話をしながらその中に割り込んでしまいました。(思った通りだ。外国人はマナーが悪い。日本人ならそんなことは恥ずかしくて絶対しない) 私は、割り込みをしたその外国人のマナーの悪さにひどく気分を害しました。

1時間を過ぎたころ、私は2階の店の入口に近づき、眼下にはずっと歩道まで続いていく行列を見ることができました。しばらくして、メニューを渡され、ラーメンの種類等を考えていると、列の下の方がざわざわしていました。その原因はすぐに分かりました。若い男女二人が長い列の横を上ってきたのです。その男女は、私たちの前をすり抜けると、すぐ前にいた日本人の二人連れのところに来て、「間に合った!」「よく間に合ったね!」と談笑し、ハグしあっていたのです。あまりの大胆さに驚き、怒りさえ感じました。私が何かを言おうとした瞬間、妻に遮られました。旅先でのトラブルを嫌ったのです。その後、日本人の四人組は店の中に消えていきました。

「外国人はマナーが悪い。日本人なら割り込みなどは、恥ずかしくて絶対しない。」

と思った自分が恥ずかしくなりました。口では偏見を嫌っていたのですが、無意識に外国の人に対して偏見をもっていたのです。自分に対しても残念で暗い気持ちになりました。

長い時間並んだ評判のラーメンは、嫌な思いが混ざり、満足のいく味ではありませんでした。私も含め、いろいろな場面で偏見が見られます。国籍や人種に関する事以外に、宗教や思想、年齢や性別、職種や資産、読み物や食べ物、趣味や考え方に至るまで……。そして、それが、場合によって、いじめや差別、さらに国と国との戦争につながることもさえるのです。

最近、某有名雑誌の特集の見出しには、「○△なんて要らない」とある国を批判し、その国の「10人に1人は(精神障害の)治療が必要」とまで記事に記載されていたのです。いくら民主主義の世の中で「言論の自由」が保障されているとはいえ、どんな表現をしてもいいというわけではありません。こうした過激な見出しの原因の一つは、出版物の販売不振だと言われています。ネットに押され、売り上げが一時期の半分に激減し、過激な話題で復活を図っているのです。しかし、それだけではなく、社会全体がそれを許容する風潮があるのではないかと私は思います。

今、世の中にはフェイクニュースが戦略として、人々の世論を動かしています。かつて日本も、情報操作によって人々を扇動し戦争に向かわせていました。私たちは、偏見をもたず、広い視野で情報を見極めなければなりません。そして、未来を担う子供たちにも、情報を精選して何が正しいのか見極める力と柔軟で豊かな心を培いたいと思っています。

